



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 4 年 4 月 実績

April 2022



令和 4 年 6 月

June 2022

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2022（令和4）年4月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2022（令和4）年4月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、3月2.5%増の後、4月は33.6%増となった。

需要者別にみると、民需は、3月0.4%減の後、4月は23.8%増となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月7.1%増の後、4月は10.8%増となった。内訳をみると製造業が10.3%増、非製造業（船舶・電力を除く）が8.9%増であった。

一方、官公需は、3月61.9%増の後、4月は防衛省、地方公務等で増加したものの、「その他官公需」、国家公務で減少したことから、6.6%減となった。

また、外需は、3月14.2%減の後、4月は原動機、鉄道車両等で減少したものの、電子・通信機械、船舶等で増加したことから、52.1%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、3月22.9%増の後、4月は道路車両、原動機等で減少したものの、重電機、産業機械等で増加したことから、3.7%増となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、3月7.1%増の後、4月は10.3%増となった。

4月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（119.8%増）、情報通信機械（49.2%増）等の12業種で、非鉄金属（77.4%減）、繊維工業（42.2%減）等の5業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、3月2.4%減の後、4月は24.2%増となった。

4月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、電力業（108.9%増）、卸売業・小売業（24.3%増）等の7業種で、通信業（25.4%減）、鉱業・採石業・砂利採取業（18.6%減）等の5業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

4月の販売額は2兆5,369億円（前月比15.9%増）で、前3か月平均販売額は2兆3,721億円（同0.1%増）となり、受注残高は32兆6,648億円（同2.2%増）となった。この結果、手持月数は13.8か月となり、前月差で0.3か月増加した。

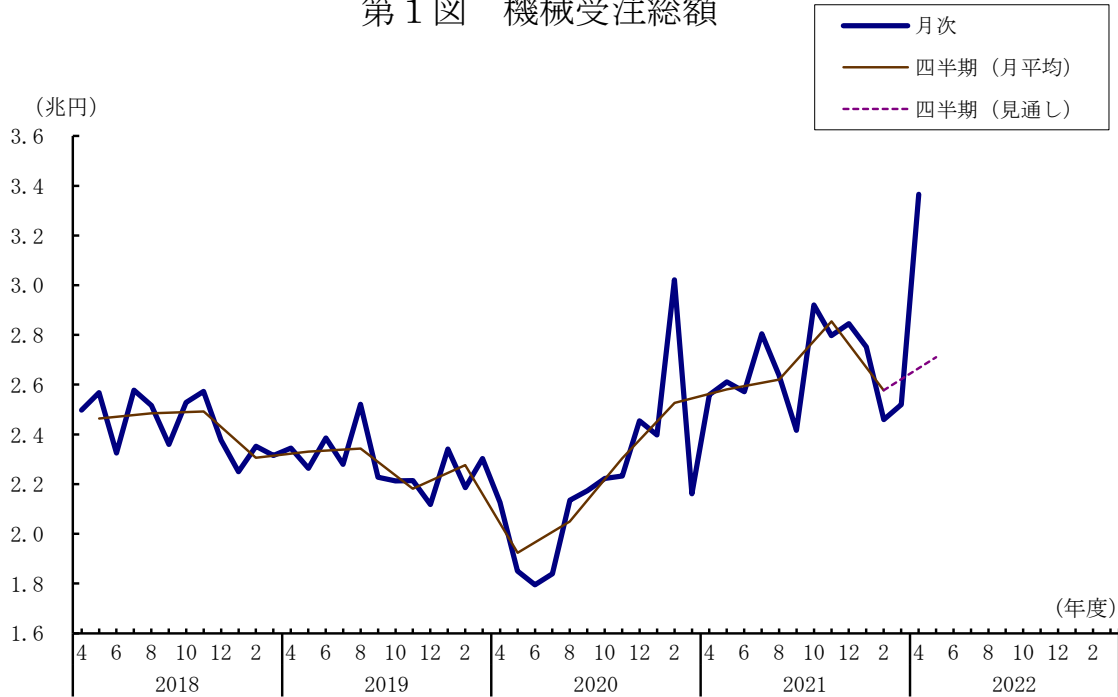
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

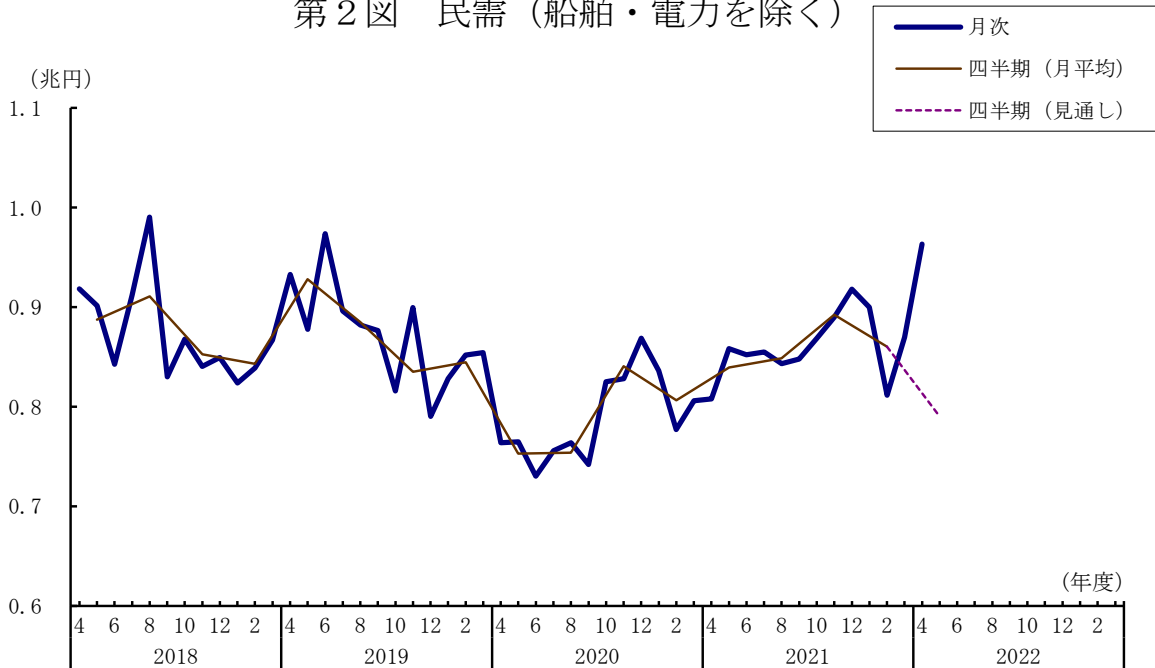
期・月 需要者	2021年 (令和3年)			2022年 (令和4年)	2022年 (令和4年)			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1月	2月	3月	4月
受注総額	77,418 ( 2.1) [ 34.0]	78,597 ( 1.5) [ 26.0]	85,633 ( 9.0) [ 23.6]	77,306 ( -9.7) [ 4.6]	27,512 ( -3.3) [ 14.7]	24,590 ( -10.6) [ -18.2]	25,203 ( 2.5) [ 16.6]	33,661 ( 33.6) [ 29.0]
民需	29,328 ( 7.5) [ 7.2]	29,077 ( -0.9) [ 4.3]	33,163 ( 14.1) [ 14.1]	28,542 ( -13.9) [ 3.6]	9,950 ( -9.9) [ 2.8]	9,313 ( -6.4) [ 8.7]	9,279 ( -0.4) [ 1.6]	11,486 ( 23.8) [ 20.7]
〃 (船舶・電力を除く)	25,181 ( 4.1) [ 12.6]	25,459 ( 1.1) [ 13.3]	26,764 ( 5.1) [ 6.4]	25,805 ( -3.6) [ 6.1]	8,996 ( -2.0) [ 5.1]	8,114 ( -9.8) [ 4.3]	8,695 ( 7.1) [ 7.6]	9,630 ( 10.8) [ 19.0]
製造業	11,777 ( 11.1) [ 26.5]	12,629 ( 7.2) [ 33.7]	13,014 ( 3.1) [ 23.4]	13,112 ( 0.8) [ 24.2]	4,322 ( -4.8) [ 18.7]	4,245 ( -1.8) [ 22.1]	4,545 ( 7.1) [ 28.8]	5,014 ( 10.3) [ 29.3]
非製造業 (船舶・電力を除く)	13,429 ( -0.9) [ 2.2]	12,949 ( -3.6) [ -1.2]	13,830 ( 6.8) [ -6.4]	12,712 ( -8.1) [ -7.1]	4,529 ( -1.9) [ -7.0]	3,878 ( -14.4) [ -10.2]	4,305 ( 11.0) [ -5.6]	4,688 ( 8.9) [ 10.3]
官公需	7,633 ( -0.5) [ -12.9]	8,081 ( 5.9) [ -7.3]	8,372 ( 3.6) [ 4.2]	8,139 ( -2.8) [ 18.8]	2,338 ( -13.6) [ -2.9]	2,215 ( -5.3) [ -16.4]	3,586 ( 61.9) [ 36.1]	3,349 ( -6.6) [ 30.0]
外需	37,032 ( 0.3) [ 98.7]	38,568 ( 4.1) [ 64.8]	39,216 ( 1.7) [ 38.7]	36,623 ( -6.6) [ 2.1]	13,050 ( 0.9) [ 27.2]	12,685 ( -2.8) [ -31.0]	10,888 ( -14.2) [ 26.7]	16,555 ( 52.1) [ 38.2]
代理店	3,587 ( 9.3) [ 19.5]	3,659 ( 2.0) [ 19.8]	3,710 ( 1.4) [ 15.4]	3,291 ( -11.3) [ 0.5]	1,169 ( 1.4) [ 6.6]	952 ( -18.6) [ -11.7]	1,169 ( 22.9) [ 6.1]	1,213 ( 3.7) [ 3.5]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2022年4～6月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2022年3月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

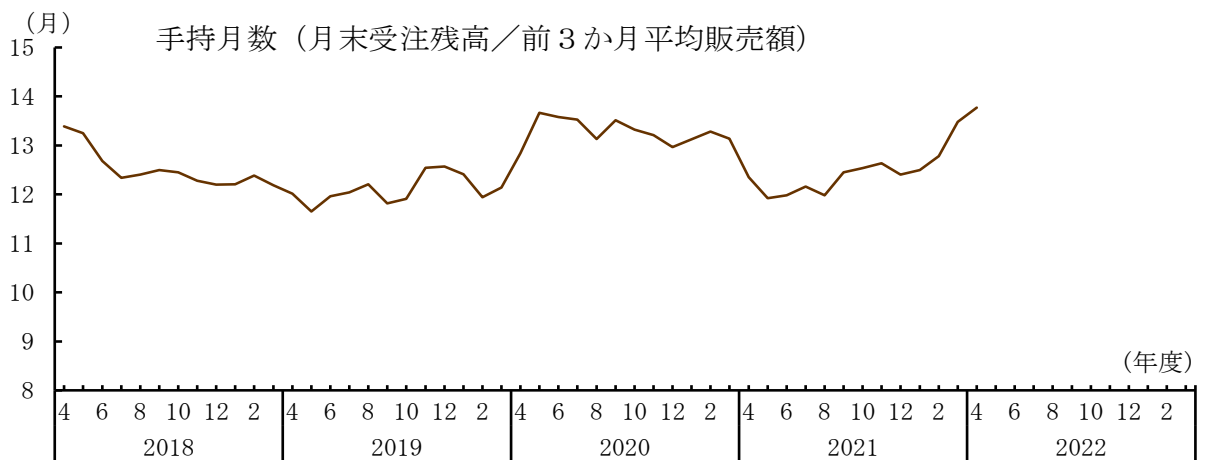
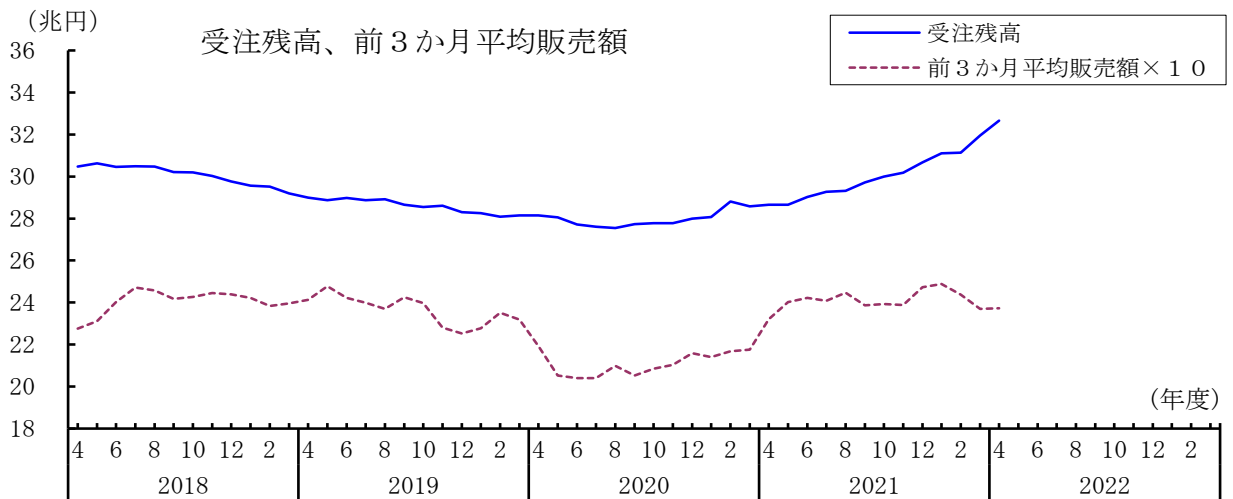
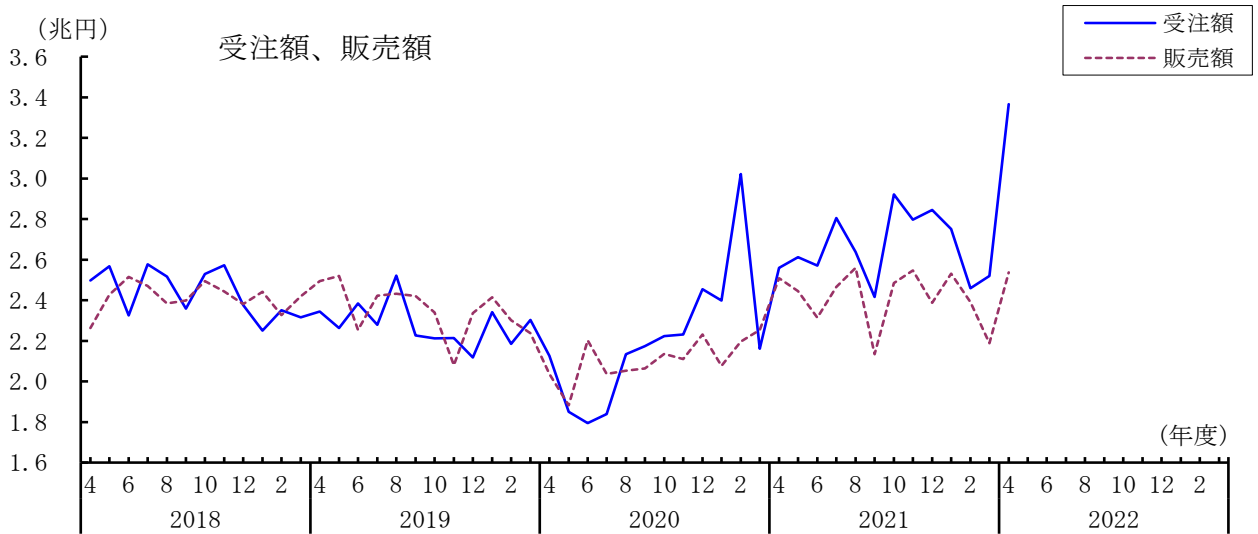
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2021年 (令和3年)			2022年 (令和4年)		2022年 (令和4年)		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	1月	2月	3月	4月
I 製造業計		11.1	7.2	3.1	0.8	-4.8	-1.8	7.1	10.3
1 食品製造業		-3.6	-11.1	31.0	-23.2	-25.1	19.3	-20.9	46.2
2 繊維工業		-10.4	21.8	-6.3	8.0	-17.0	-4.2	66.2	-42.2
3 パルプ・紙・紙加工品		17.1	-1.5	23.8	-20.8	-42.2	-33.0	37.1	-11.1
4 化学工業		5.5	77.0	-45.2	24.0	17.5	-23.6	-12.7	14.9
5 石油製品・石炭製品		38.3	-39.8	31.6	-11.7	-17.9	-13.9	4.1	119.8
6 窯業・土石製品		12.2	2.9	4.9	-8.4	-11.8	6.5	25.1	-17.4
7 鉄鋼業		-2.5	16.9	3.8	-9.9	-3.9	-9.2	20.5	-8.1
8 非鉄金属		-18.5	33.8	19.0	50.1	-21.9	-19.1	72.0	-77.4
9 金属製品		18.5	16.6	-6.4	21.2	79.3	-29.7	14.0	22.7
10 はん用・生産用機械		8.9	3.3	7.9	-5.6	3.7	-5.7	6.4	5.2
11 業務用機械		3.5	-9.5	32.8	-11.6	-18.8	1.5	3.3	3.5
12 電気機械		18.0	3.7	19.3	2.2	-9.5	13.8	-13.6	13.4
13 情報通信機械		-0.2	35.2	4.7	0.9	-11.4	52.8	-41.1	49.2
14 自動車・同付属品		5.2	-4.3	-2.0	1.8	-7.3	11.3	-0.2	21.6
15 造船業		-11.1	14.1	1.9	-38.3	-29.3	-30.9	60.9	42.0
16 「その他輸送用機械」		12.1	-5.9	7.9	0.5	-23.1	15.1	6.1	44.2
17 「その他製造業」		8.9	5.7	-13.1	14.6	7.0	-10.1	24.4	1.4
II 非製造業計		3.0	-5.8	23.7	-22.1	-19.1	-0.9	-2.4	24.2
18 農林漁業		-9.6	-14.9	17.5	-5.1	8.2	-14.3	1.5	10.1
19 鉱業・採石業・砂利採取業		25.1	-33.5	26.0	12.2	-25.6	13.7	44.5	-18.6
20 建設業		11.6	-12.3	18.2	-16.4	-21.4	-8.6	2.6	5.2
21 電力業		20.5	-13.7	57.9	-37.6	-47.2	45.3	-45.5	108.9
22 運輸業・郵便業		-8.9	-4.3	69.3	-39.1	-1.5	-23.7	42.3	22.9
23 通信業		-1.9	0.6	-7.1	-6.3	-18.7	8.8	15.7	-25.4
24 卸売業・小売業		7.4	12.4	-8.3	-9.3	-11.9	-4.0	14.1	24.3
25 金融業・保険業		-3.4	-7.8	8.9	-9.2	-6.2	-23.3	37.9	19.2
26 不動産業		5.4	3.9	32.5	-15.2	1.5	-40.8	55.6	-13.6
27 情報サービス業		-3.3	1.3	17.7	-9.9	11.0	-36.9	32.8	-5.0
28 リース業		5.3	6.0	3.5	3.7	-17.5	18.0	64.1	-13.9
29 「その他非製造業」		-6.0	4.4	-9.4	-5.2	0.6	-5.7	-9.9	31.5

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

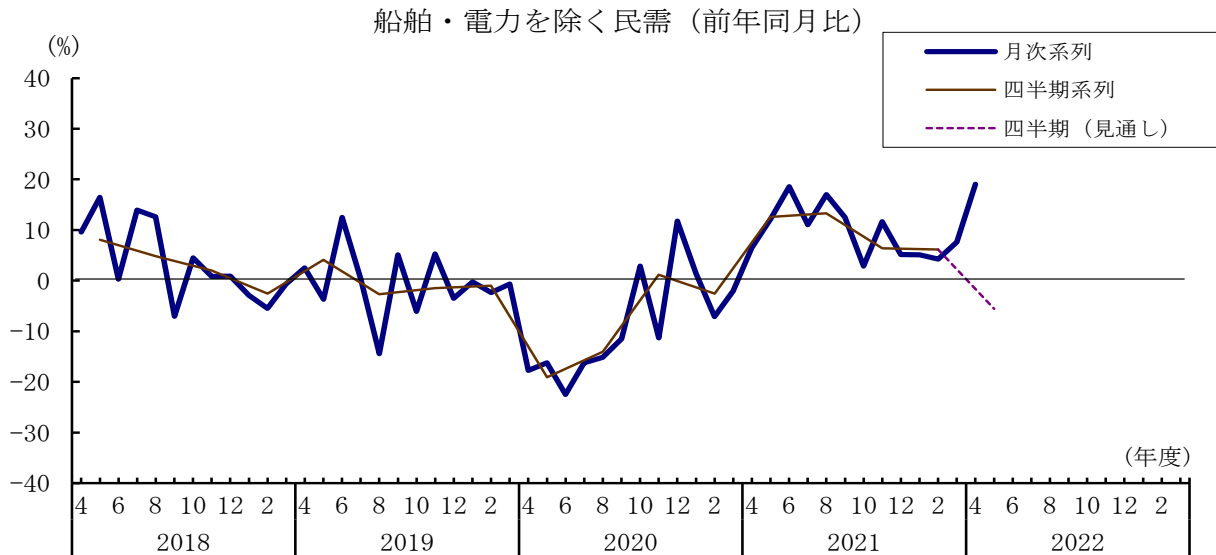
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数  
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

4月の受注総額は、3兆119億円で前年同月比29.0%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2022年4～6月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2022年3月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は1兆615億円で前年同月比20.7%増（船舶・電力を除くと同19.0%増）、官公需は3,494億円で同30.0%増、外需は1兆4,832億円で同38.2%増、また、代理店は1,178億円で同3.5%増となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比29.3%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、金属製品（85.0%増）、「その他輸送用機械」（80.9%増）等の15業種で、非鉄金属（39.7%減）、窯業・土石製品（7.8%減）の2業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比14.4%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業（40.3%増）、リース業（38.1%増）等の9業種で、通信業（15.6%減）、建設業（11.0%減）等の3業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

4月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（93.9%増）、船舶（85.6%増）等で増加となった。反面、原動機（19.3%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比29.0%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（494.2%増）、



航空機（326.9%増）等で増加となった。反面、原動機（30.0%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比20.7%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2021年 (令和3年) 4～6月	7～9月	10～12月	2022年 (令和4年) 1～3月	2022年 (令和4年) 1月	2月	3月	4月
民 需 総 額	7.2	4.3	14.1	3.6	2.8	8.7	1.6	20.7
原 動 機	-18.0	-17.6	43.0	15.2	-22.1	76.5	11.5	-30.0
重 電 機	16.1	3.0	29.9	13.6	17.0	3.1	17.7	96.4
電子・通信機械	1.1	5.0	1.5	2.7	8.4	-1.3	1.9	22.5
産 業 機 械	30.4	18.4	6.7	-1.2	-0.8	3.4	-4.1	9.7
工 作 機 械	77.6	85.1	73.1	52.2	59.4	55.6	44.4	39.4
鉄 道 車 両	-42.1	-35.6	-5.6	-30.6	-35.5	38.8	-38.7	70.4
道 路 車 両	-5.0	-4.0	-11.6	-19.3	1.2	-11.6	-30.9	10.3
航 空 機	-16.6	8.7	-3.4	36.7	29.4	60.9	27.7	326.9
船 舶	-16.6	-85.8	284.0	-5.9	122.5	-74.5	49.2	494.2

## (2) 販売額

4月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、船舶（12.6%増）、工作機械（12.1%増）等で増加となった。反面、原動機（56.9%減）、航空機（22.0%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比1.3%増となった。

## (3) 受注残高

4月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（55.1%増）、道路車両（40.6%増）等で増加となった。反面、原動機（1.7%減）、鉄道車両（0.9%減）で減少となった。この結果、合計では前年同月比14.0%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

4月の受注額は、113億円で前年同月比40.8%減、販売額は、234億円で同17.9%増、受注残高は、4,905億円で同0.6%減となった。

### (2) 軸受

4月の受注額は、717億円で前年同月比3.7%増、販売額は、600億円で同4.0%減、受注残高は、1,098億円で同14.6%増となった。

### (3) 電線・ケーブル

4月の受注額は、1,112億円で前年同月比0.2%増、販売額は、1,091億円で同8.9%増、受注残高は、1,740億円で同0.2%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表  
目 次

[ グ ラ フ ]

第 1 図	主要需要者別受注額 -----	9
第 2 図	主要業種別受注額 -----	12
第 3 図	主要機種別受注額 -----	17

[ 計 数 表 ]

	需要者別受注額（季節調整系列） -----	18
	機種別受注残高手持月数（ 〃 ） -----	23
	需要者別受注額（原系列） -----	24
	機種別受注額（ 〃 ） -----	29
	機種別販売額（ 〃 ） -----	33
	機種別受注残高（ 〃 ） -----	37
	機械受注統計調査結果表（2022年4月実績） -----	41

(別紙)

	需要者（業種）分類の表章変更 -----	45
--	----------------------	----

(巻末)

	季節調整の検討結果 -----	46
--	-----------------	----